

日本 NPO 学会第 11 期理事会 第 13 回理事会議事録

開催概要

日時：2021 年 9 月 25 日（土）19:00～19:33

場所：日本 NPO 学会事務局

〒770-8502 徳島県徳島市南常三島町 1-1 徳島大学総合科学部公共政策学研究室

開催方法：WEB 会議ツール「Zoom」を利用したオンライン開催

出席理事：石田会長、坂本副会長、青尾理事、稲葉理事、大久保理事、岡田理事、菊池理事、粉川理事、小田切理事、桜井理事、菅野理事（途中から出席）、出口理事、中嶋理事、仁平理事、長谷川理事、三木理事、李理事

欠席理事：岡本理事、川中理事、小島理事、鈴木理事、戸川理事、早瀬理事、松島理事、森理事

出席監事：上原監事

議案・配布資料

別添の議事次第および配布資料を参照（電子データによる配布）

1. 理事会の成立、進行、出席者の確認等

理事会の成立の確認

会則第 26 条の定めにより、過半数の理事が出席（25 名中出席 16 名及び委任状提出 4 名）であり、本理事会が成立していることが確認された。

議長

会則第 25 条の定めにより、石田会長が議長を務めることが確認された。

議事録署名人の選出

会則第 26 条第 3 項に基づき、議事録署名人として、中嶋理事、仁平理事が選出された。

2. 審議事項の経過と結果

(1) 第 1 号議案：日本 NPO 学会第 24 回研究大会開催について

粉川大会運営委員会委員長より、第 24 回研究大会の開催案が提案された（第 1 号議案資料）。開催校を武蔵大学とすること、開催校代表者を粉川一郎会員が担当すること、Zoom を用いたオンライン開催とすること、企画委員会を設置し委員長を坂本治也会員

が担当すること、そして、各委員会のメンバーについてはあらためて理事会提案すること、などについて説明が行われた。

また、石田会長より、大会運営委員長の粉川委員長が大会実行委員長を兼務することに関して、コロナ禍で開催校の選定が難航した結果であることについて説明があった。

質疑

- ・役職を兼務することについて、会長が補足された趣旨は、負担が増える懸念があるということなのか、あるいは利益相反のようなものがあるということなのか。前者は少し懸念があるが、後者はとくに問題があるとは思えない。

⇒前者については、規程上は想定されていないものの、禁止する定めはないという理解である。後者については、ご指摘の通り問題ないと思う。

承認事項

審議の結果、第 1 号議案は原案通り承認された。

(2) 第 2 号議案：新規入会希望者の承認について

小田切事務局長より、新規入会希望者の承認について提案があった（第 2 号議案資料）。6 名の新規入会希望者があったこと、そして、第 2 号議案資料は議事録に添付する際には氏名と会員種別のみに限定すること、について説明が行われた。

質疑

なし

承認事項

審議の結果、第 2 号議案は原案通り承認された。

3. 報告事項の経過と結果

(1) 執行部報告

小田切事務局長より、9 月 15 日付の会費納入率が 71.5%であったこと、この比率は例年とほぼ同じであること、理事から会費未納者へのアプローチをお願いしたいこと、について説明が行われた（資料なし）。

質疑

なし

(2) 学術研究委員会報告

岡田学術研究委員会委員長より、2021 年度若手研究者への国際学会参加支援助成金の選考結果について報告があった（報告 2 資料）。今年度は 2 名の応募があったこと、そして、委員会での審議の結果、大倉沙江会員および一柳智子会員を採択者として選定したことについて説明が行われた。

質疑

なし

4. その他

- ・研究大会の実施時期に関して、6 月というのは、大学の繁忙期にあたり実行委員長等を引き受けるのに躊躇した。大会の開催時期を検討してもよいのでは。
- ・学術研究委員会では、10 月 8 日及び 11 月 20 日に、日本 NPO 学会賞記念講演のウェビナーを開催予定である。
- ・編集委員会からの報告であるが、8 月末に締め切った実践報告として 3 本の投稿があった。理事の方々でも投稿について周知をお願いしたい。

以 上

議長

石 田 祐 印

議事録署名人

中 嶋 貴 子 印

仁 平 典 宏 印